

「歴史と文化が薫るまちづくり事業」計画骨子

～木曾義仲と宮崎太郎の夢を受け継ぐまちづくり～

平成23年10月

朝 日 町

目 次

1. 歴史的・文化的特性	2
2. モデル地域のエリア	3
3. モデル地域内に所在する地域資源	4
4. 地域資源を活かしたまちづくりの方向性	8
5. 歴史と文化の薫るまちをつくる役者たち	9
6. 歴史と文化の薫るまちづくりへの施策群	10

1. 歴史的・文化的特性

朝日町は、富山県の東端に位置し、日本海と山間部が接近した特異な地形を有しており、古代より日本海側の両越海岸回廊の西の関門として、東西の人と文化の交流の拠点として発展したため、先人が育んだ遺構や文化財、歴史資料が多数存在している。

古くは、ヒスイ工房跡である浜山玉作遺跡をはじめ、国境警備のねじろとされた宮崎城跡、平安時代に活躍した源氏の武将 木曾義仲と縁のある鹿島神社、脇子八幡宮や諏訪神社など、悠久の歴史に思いを馳せる浪漫に満ちた地域である。

中でも、平安時代末期、木曾義仲と平家討伐に意気投合した地方豪族である「宮崎太郎長康」は、越中国である市振から入善町までの全域を統治し、宮崎党の党首として県内最古の山城である宮崎城を築城したとされている。

宮崎城跡は標高 248m の台状の山にあり、攻撃を防ぐ空洞や兵がよじ登った堅堀の跡などの構築物に中世の越中・越後の国境争奪の拠点ともなった城跡に悠久の浪漫が感じられる。

今もなお、朝日町に残るこうした歴史的遺構や山城跡の面影は、先人たちの血と汗の結晶であり、中世の人々が生きることに関心を持った情念のメッセージが脈々と伝わってくる。

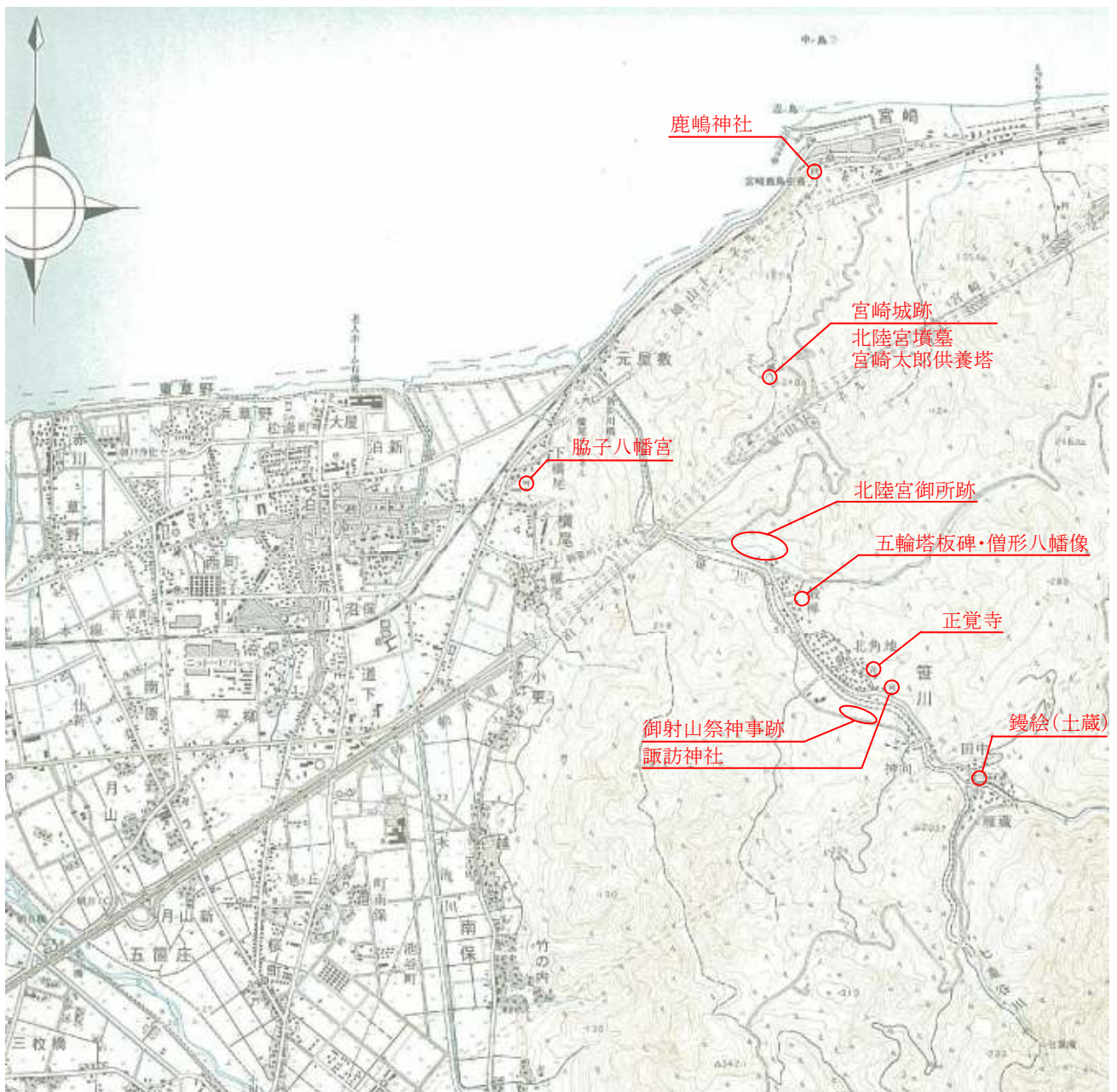
歴史・文化的資源を地域の宝として、新しいものだけに目を向けがちな今日的風土を見つめ直し、観光振興だけではない「魅力あるまちづくり」、そして「お互いが共感できるまちづくり」を築き、次の世代につないでいくには、末永く地域が愛される空間を創出していくことが非常に重要である。

本事業においては、地域資源の整備と情報を整理することにより、特徴や強みを活かしたゾーン形成を図り、更なる地域の魅力づくりにつなげるため、ハード・ソフトの両面から整備を行うこととする。

2. モデル地域のエリア

本事業によるモデル地域エリアは、「木曾義仲と宮崎太郎ゆかりの地」をはじめとした豊富な歴史・文化資源を有する笹川地区および宮崎地区の中山間地域とする。

このモデル地域エリアと文化財の展示、学習、体験施設である「なないろKAN」、
「朝日町埋蔵文化財施設まいぶんKAN」など各施設が連携し、情報の収集・発信およびイベントの協力等により、地域資源を活用したまちづくりが期待できる。




3. モデル地域内に所在する地域資源

1) 笹川エリア


	名称	ほくりくのみや 北陸宮御所跡
	概要	宮崎太郎の弟である別府三郎の館が当地にあり、北陸宮が宮崎に身を寄せた際にその館を改築して行在所とし、宮をお護りしたとされる。

	名称	ごりんのとういたひ そうぎょうはちまんぞう 五輪塔板碑・僧形八幡像
	概要	北陸宮御所の南端に瀨尻の大岩があり、宮を護衛してきた長井氏によって八幡社が建てられたという。跡地に五輪塔板碑・僧形八幡像などが残る。


	名称	しょうこくじ 正覚寺
	概要	真宗大谷派の寺院で、天正年間に小塚権太夫によって開山されたとされる。一説には義仲の時代に諏訪神社の神宮寺として創建されたとされている。

	名称	すわじんじや 諏訪神社
	概要	木曾義仲の命により信州の諏訪大社下社の大祝であった金刺盛澄によって諏訪大社より分祀をうけて創建されたとされる。笹川地区の総氏神。


	名称	みさやまさいしんじあと 御射山際神事跡
	概要	諏訪大社の古い祭りである御射山祭（みさやまさい）がかつて笹川においても行われた。その名残りが古い地名として残っている。

	名称	こてゑ 鏝絵（折谷賢二宅土蔵）
	概要	明治27年から38年にかけて造られた土蔵で、土扉や窓枠などに見事な鏝絵が見られる。また、外壁の腰壁は県内でも珍しい亀甲模様の群青色のなまこ壁である。

2) 宮崎エリア


	名称	わきこはちまんぐう 脇子八幡宮
	概要	8世紀初めに創建された神社。木曾義仲が京攻めにあたり、宝剣一振りを献進し、武運長久を祈ったとされる。

	名称	かしまじんじや 鹿嶋神社
	概要	常陸国の鹿嶋大神が宮崎の沖の島に降臨されたのが起源。式内社「神度神社」に比定される。治承年間に木曾義仲より奉幣があったという。

	名称	みやざきじょうあと 宮崎城跡
	概要	県内最古の山城で、当地の豪族宮崎太郎によって北陸宮が匿われた。宮崎太郎は一族である宮崎党を率いて源平合戦に活躍した。

	名称	ほくりくのみやふんぼ 北陸宮墳墓
	概要	平家に追われ宮崎の地まで逃れてきた以仁王の遺児北陸宮を偲んで、京都の宮の墳墓より分骨を受けて昭和45年に建てられた。

	名称	みやざきたろうくようとう 宮崎太郎供養塔
	概要	木曾義仲に従い活躍した当地の豪族宮崎太郎長康公に思いを馳せ、昭和48年に北陸宮墳墓に隣接して建てられた。

	名称	きょうのやすやまじょうあと 京保山城跡（旧南保城）
	概要	宮崎太郎の弟である南保次郎家隆によって築かれたとされる山城。平時は山麓に住み戦時にこの山城を中心に防備したものである。

	名称 <small>たかほたけじんじや</small> 高畠神社
概要	南保次郎家隆によって当地に熊野信仰が広められ、その総氏神として京都の新熊野神社より分祀をうけ創建されたとされる。

4. 地域資源を活かしたまちづくりの方向性(連携について)

(1) 散策ルートの設定とマップ作成

宮崎城跡や脇子八幡宮など町内に点在する多くの史跡群が回遊できるよう散策ルートを設定し案内板の設置を行うほか、史跡マップを作成し、来訪者や観光客に対する回遊性の向上と案内資料の充実を図る。

(2) 地域と連携した活動支援

町内有志による活動団体「木曾義仲・巴と宮崎太郎あさひ塾」が、木曾義仲に関する文献調査や現地調査等勉強会を開催しており、取り組みについて連携する。

また、地域住民や来訪者に史跡の魅力を伝えるために、地元観光ボランティアガイドを養成するとともに、様々なイベント等に活躍できるよう拡声器等備品整備を支援する。

さらに、このモデル地域エリアで活動する人々と文化財の展示、学習、体験施設である「なないろKAN」、「朝日町埋蔵文化財施設まいぶんKAN」など各施設が連携し、情報の収集・発信およびイベントの協力などにより、地域資源を活用したまちづくりが期待できる。

(3) 城山の景観保全

富山県内最古の城跡である宮崎城は、山頂 248m に位置しており朝日町や日本海を一望できる展望スポットとして地域住民に親しまれているが、施設の老朽化が著しい状況にある。また、城山を形成している曲輪や堀など歴史的構造物については案内看板が未設置になっている。

このため、散策ルート上の休憩スポットとして、トイレ改修、東屋整備および桜の名所としての保全対策を行うほか、歴史的構造物のさらなる調査および案内看板や説明板等を設置し、城山のさらなる魅力向上を図るための整備を行う。

5. 歴史と文化の薫るまちをつくる役者たち

<木曾義仲・巴と宮崎太郎あさひ塾>

朝日町における「木曾義仲・巴御前・宮崎太郎」に関連した各種文献の収集及び整理のほか、町おこしの機運醸成のため、平成22年8月に有志により結成された郷土史を楽しみながら学習・研究を行っているグループである。

- 3班編成（おもてなし・交流・PR）により、関係団体との交流、地域マップやキャラクター作りなどを実施していく。
- 木曾義仲・巴・宮崎太郎に詳しい講師や史学家を招聘し、知識や見聞を深めて。

<あさひガイドグループ>

ふるさとの自然や歴史文化、施設、名産等の自主的な郷土学習、郷土案内を行うことにより、朝日町の魅力案内役として平成9年4月に発足した観光ボランティアグループである。

- 県内外から来町される方々に現地で引率を行いながら、丁寧で分かりやすい解説に努めている。
- 地域の清掃活動やイベントなどに積極的に参加し、献身的に奉仕活動を行っている。

6. 歴史と文化の薫るまちづくりへの施策群

<ソフト施策群>

- ・ 散策ポイントマップ・ルートマップ作成
- ・ 観光ガイド養成
- ・ 対外PR向けキャラクター作製
- ・ 対外PR（関連イベントの実施）
- ・ 歴史の街道復活（現地調査）

<ハード施策群>

- ・ 城山城跡景観保全（トイレ改修、あずまや建設、桜の名所対策）
- ・ 歴史的観光ポイントにおける案内看板等設置
- ・ 北陸宮御所整備